

報道機関各位

平成27年1月29日
函館開発建設部 広報官
電話番号 0138-42-7702

お知らせ

件名	函館新外環状道路 はこだて あかがわ 「 函館IC～赤川IC 」〈通行無料〉が開通します ～函館空港とのアクセス向上による物流・観光・産業への貢献～
----	---

お知らせ内容

函館開発建設部が整備を進めている函館新外環状道路のうち、はこだて函館IC～あかがわ赤川ICが以下のとおり開通しますのでお知らせします。

なお、開通式典や一般車両が通行できる時刻などについては、具体的な内容が決まり次第、改めてお知らせします。

区間 函館新外環状道路 はこだて函館IC～あかがわ赤川IC
(延長約2.4km)
開通日 平成27年3月14日(土)

【期待される効果】

- 函館空港へのアクセス性向上により農水産物輸送の品質確保への支援を期待
- 函館空港を起点とする観光地へのアクセス性向上が期待
- 工業団地の分譲促進により設備投資の拡大や雇用の増加など民間需要の拡大が期待
- 通過交通の転換による生活道路の渋滞緩和が期待

問合せ先	所属	役職名	氏名	代表電話
	函館開発建設部 道路計画課	道路計画課長	<small>あべ</small> 阿部 <small>つよし</small> 剛	0138-42-7614
	函館開発建設部 広報官	広報官	<small>きまた</small> 木全 <small>ゆうじ</small> 裕示	0138-42-7702

函館新外環状道路

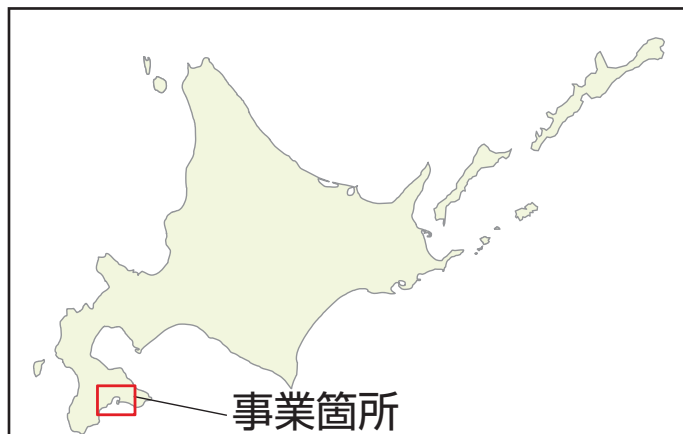
函館IC～赤川IC(延長2.4km)

平成27年3月14日(土) 開通

事業の概要

- 函館新外環状道路は、函館ICから函館空港ICへ至る延長10.0kmの自動車専用道路です。
- 当路線の開通により、函館新道、函館・江差自動車道と一体となって、道南圏から函館空港までのアクセス時間の短縮を実現するとともに、函館市内の交通混雑の解消及び定時性の向上が期待されます。

事業区間の概要

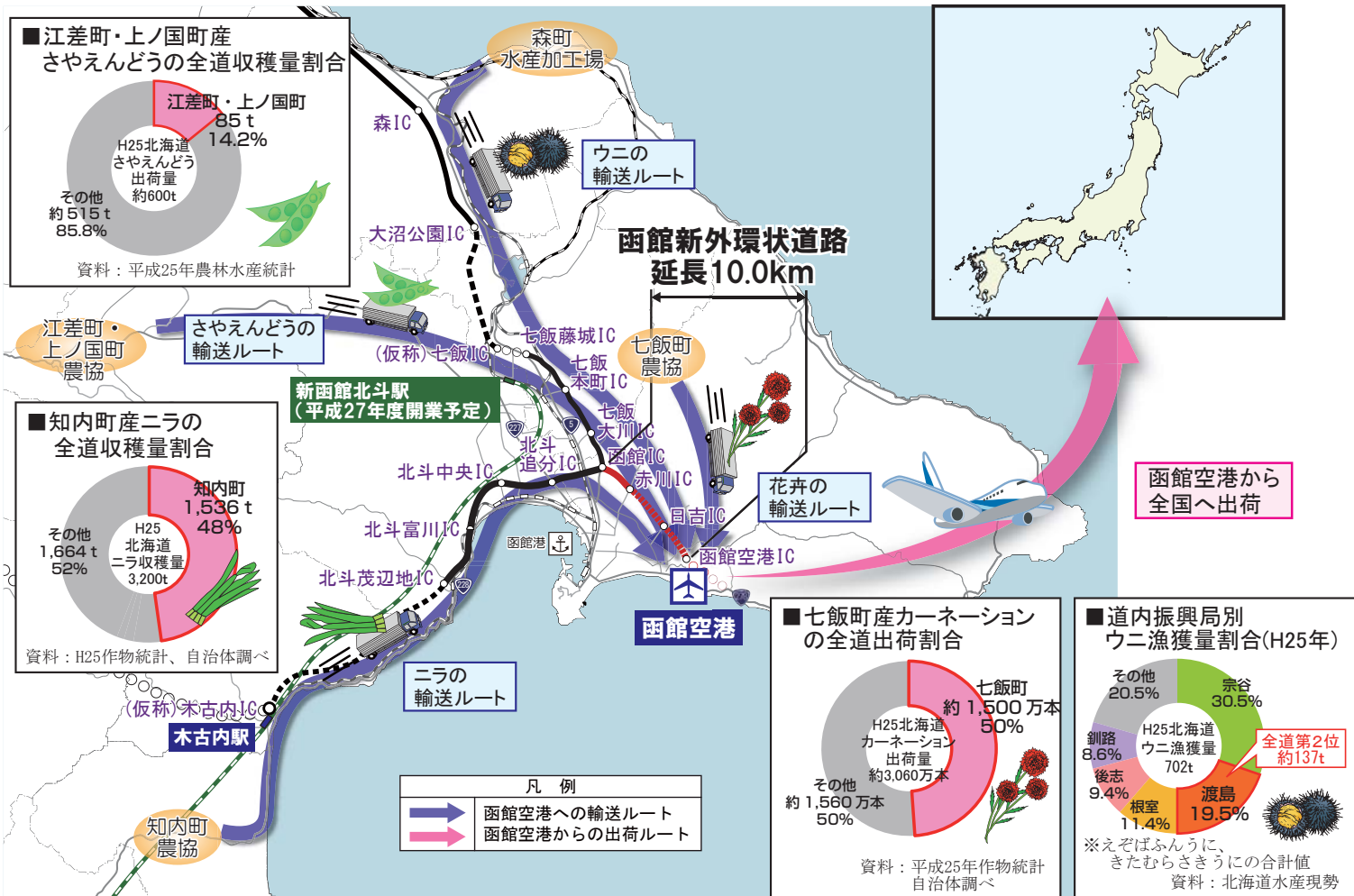


函館都市圏 道路ネットワーク 整備効果

効果 1 函館空港へのアクセス向上により 農水産物輸送の品質確保への支援を期待

函館都市圏では、これまで函館新道、函館・江差自動車道（函館IC～北斗茂辺地IC間）が開通しています。多様な交通ネットワークを強化する重要な路線である函館新外環状道路の全線開通により、**函館空港とのアクセス性が向上することで、新鮮な農水産物の品質確保への支援を期待**されます。

■主な農水産品の輸送ルート

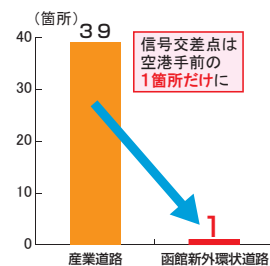


■函館新外環状道路の開通による輸送ルートの変化 (例：ウニ・カーネーション)

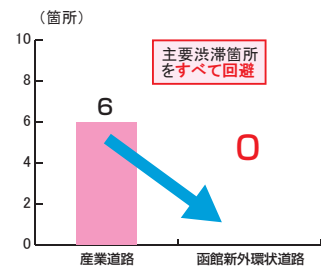
信号交差点や主要渋滞箇所の回避により、**所要時間の短縮に加え、走行中の揺れが軽減される**ことから、鮮度を落とさない迅速な輸送が可能となり、**速達性や安定性の向上が期待**されます。



■信号交差点数の比較



■主要渋滞箇所数の比較



※産業道路は地点A～函館空港間、函館新外環状道路は函館IC～函館空港IC間の箇所数

水産加工会社の声

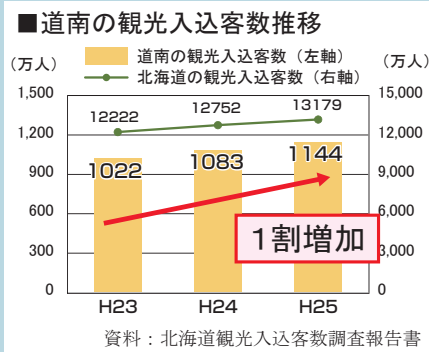
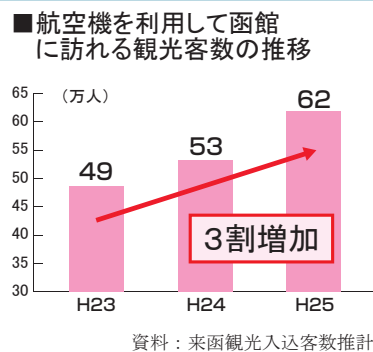
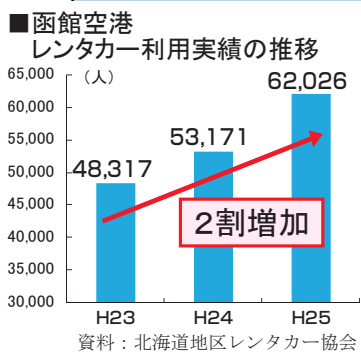
弊社では、折に詰めたウニを100%函館空港から東京に空輸しています。折詰めしたウニは揺れや振動に弱く、揺れが激しいと全体の荷崩れやウニ自体の縁辺部が溶けだし、製品にダメージを受けます。そのため、飛行機の時間を厳守することはもちろんですが、**輸送時間をできるだけ短くし、かつ静かに運ぶことが大切**です。空港道路がつかねば、函館ICから短時間でダイレクトに空港に輸送できるようになるため、**工場作業をギリギリまで行えますし、製品の質の向上にも役立つ**と思います。

函館都市圏 道路ネットワーク 整備効果

効果 2 函館空港を起点とする観光地へのアクセス性向上が期待

函館新外環状道路の開通により、函館市外の観光地と空港とを結ぶ観光バスは、産業道路の渋滞を回避できる函館新外環状道路へ転換することも想定され、立ち寄り箇所を増やすなど、周遊プランの充実（例：空港⇒トラピスチヌ⇒トラピスト、空港⇒トラピスト⇒松前公園、空港⇒トラピスチヌ⇒大沼国定公園）が期待されます。

■産業道路を走行する観光バスの状況



函館市職員の声

空港道路により、市内各所の観光地へスムーズにアクセスできるようになります。また、高規格ネットワークの一部として、圏域全体の周遊性を高め、拠点としての函館空港や湯の川温泉の優位性を発揮できます。

観光バス運行会社

将来、新幹線が函館に来た場合、空港道路の整備により、飛行機で入って来た観光客が、湯ノ川に宿泊し、トラピスチヌとトラピスト修道院を両方回って新幹線駅に到着するような移動が、時間をかけずに気軽に実現できるようになれば、多彩で魅力的な旅行プランの提案につながります。

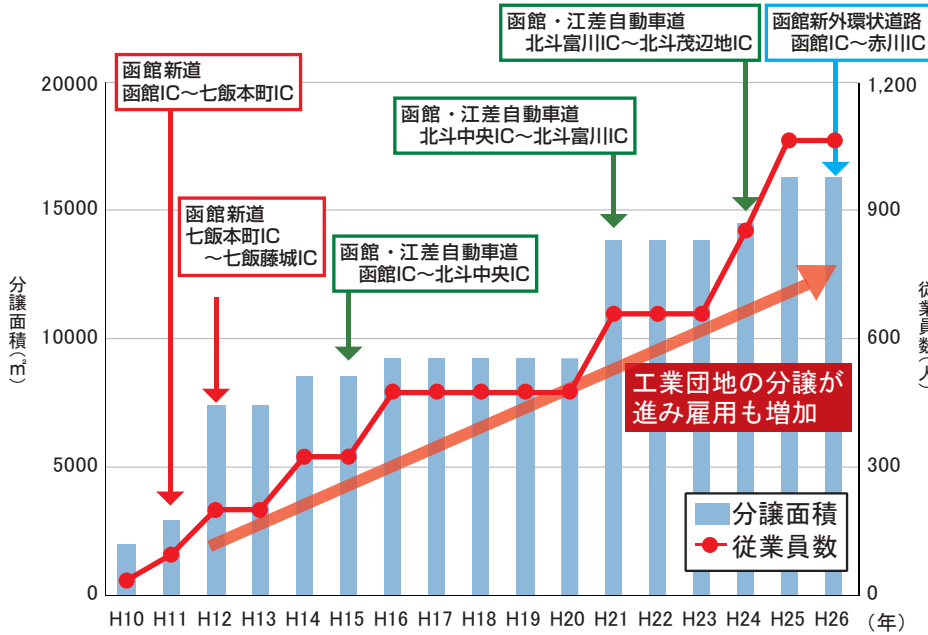
函館都市圏 道路ネットワーク 整備効果

効果 3 工業団地の分譲促進により 設備投資の拡大や雇用の増加など民間需要の拡大が期待

企業活動の高い利便性・効率性が期待できるIC周辺の工業団地では、企業の本拠地が着実に進んでおり、約3割が道外からの企業進出となっております。これら企業の進出による設備投資の活性化や雇用の増加など民間需要の拡大を通して地域経済の活性化に貢献しており、函館新外環状道路の延伸により沿線の工業団地の立地促進も期待されます。

■函館IC周辺に位置する函館テクノパークの分譲面積の推移

工業団地へのアクセスが向上したことで、分譲が進み、企業の進出を促進



資料：函館市経済部



写真：公益財団法人函館地域産業振興財団

工業団地立地企業の声

交通の利便性を考慮し、ここに立地しました。弊社は製造業ではないため物の輸送はありませんが、社員の出張はもちろん通勤もしやすく快適に仕事ができる環境です。

<函館テクノパーク・サービス業>

企業立地ガイド(パンフレット) 抜粋

函館地域では、北海道縦貫自動車道及び函館・江差自動車道といった高速自動車道の建設が進められているほか、函館新外環状道路の整備も進んでおり、北海道新幹線や空港・港湾などの交通拠点の連携強化が進められています。

<函館地域産業活性化協議会発行>



効果 4 通過交通の転換による生活道路の渋滞緩和が期待

生活交通と通過交通が混在することで渋滞していた産業道路から、函館新外環状道路へ通過交通が転換することで、産業道路沿道の商業施設が利用しやすくなります。また、混雑する産業道路を避けるために利用されていた赤川石川線や美原学園通など周辺道路の交通環境改善が期待されます。

■産業道路の渋滞緩和

函館新外環状道路へ交通が分散することで、渋滞緩和が期待されます。



美原学園通の渋滞状況



産業道路の渋滞状況

